

news 連載

告知

「食の安全・健康情報」テーマに 2月23日に第2回 林原ライフセミナー開催

林原(岡山市北区)は、「食の安全・健康情報」をテーマとした一般消費

者・食品事業者向けイベント「第2回林原ライフセミナー」を山陽新聞社「さん太ホール」で開催する。今回は、科学ジャーナリストの松永和紀氏が「食の情報 ウン・ホント?」フェイクニュースに惑わされない科学的思考を身につける」との演題で、食の安全や健康効果に関する情報を科学的に正しく判断するポイントを解説する。

【日時】2月23日14時~15時40分
【会場】山陽新聞社「さん太ホール」(岡山市北区柳町2-1-1)
【聴講料】無料(先着250人)
【申込】WEBサイト(w w w . h a y a s h i b a r a . c o . j p ) または電話(0866-24-4315)での事前申込が必要。

コラム

新しい年が始まった。昨年、平成に起きた出来事をコラムで書いたが、健康食品業界に絞って平成を振り返ってみると、特定保健用食品、機能表示食品といった制度が始まった時代だ。昨年だけでも本紙で数多くの新製品を紹介したが、これらの食品が数多く登場していた。新しい元号となった時代ではまた新しい製品が登場するのだから期待が膨らむ。製品に限らず、新しい

素材、効果が登場し市場が活発に動くことを想像している。また、今年2019年は4月まで平成31年であり5月からは新しい元号の元年でもある。平成31年と刻まれる便貨は多くはないだろうから手に入ったら手元に残しておきたい。ちなみに、昭和64年の500円玉を先日入手した。昭和64年は7日しかなかったから貴重なものなのだろうと喜んだが、高くて1000円ほどらしい。いつかお宝になるまで温存しておこう。(柳沼)

年頭所感(一部抜粋)

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 理事長 下田 智久



機能性表示食品制度については、施行から約4年が経過し、公表件数が1600件を超え、活況を呈しておりますが、年間を通して見てみますと前年よりは下回りそう

「しかしながら、撤回件数の増加、広告における相次ぐ違反摘発、分析方法の開示、厳しい事後チェックなど、課題も顕在化してきました。当協会では、これまで事業者の届出を支援する取り組みとして、届出資料作成の手引書発行、分野別専門相談、研究レビューへの支援等を実施してまいりましたが、それに加え、昨年5月より

USA 米国の健康・予防医療 最新情報 ①

昨年9月から米国ハーバード大学公衆衛生大学院で、最先端のアンチエイジング、「健康と幸福の関係性」の研究を進める抗加齢医学専門医の天野方一氏が、日本の読者に向けて米国の健康・予防医療最新情報を届けてくれることになった。本紙はこの最新情報を連載していく。



天野方一医師

「植物性タンパク質」が流行

私がお所属しているハーバード大学公衆衛生大学院の社会行動科学部局のラボでは、食事としてハンプバーやピザといった高糖質なものを持つてくる人はほとんどおらず、大半の研究者がリンゴ等の果物や野菜、ゆで卵などを持ってきています。タンパク質を豊富に含む食品と言った肉や魚をイメージする方が多いと思いますが、今ポストンで流行しているのは肉や

魚に含まれている「動物性タンパク質」ではなく、大豆などに含まれている「植物性タンパク質」です。特に、植物性タンパク質が豊富な「ひよこ豆」は大人気の食材で、ひよこ豆を使ったスナックやバターなどさまざまな種類の食品が発売されています。ユニークなのは、タンパク質を求めている人はまず食べないだろうという商品まで、「高タンパク質」を大々的に打ち出して売られていることで

●筆者プロフィール

天野方一

抗加齢医学専門医、腎臓内科専門医などの資格を持つ医師。予防医学やアンチエイジングに重要性を感じ、2016年に帝京大学大学院公衆衛生学研究所に入学。「食生活や生活習慣など日常生活を改善することで、身体だけでなく心もハッピーに」をモットーに予防医学やアンチエイジングに関する研究を行う。2018年9月より米国ハーバード大学公衆衛生大学院に留学し、最先端のアンチエイジング、「健康と幸福の関係性」について研究中。

北海道産サケ白子由来原料 水溶性ヌクレオプロテイン

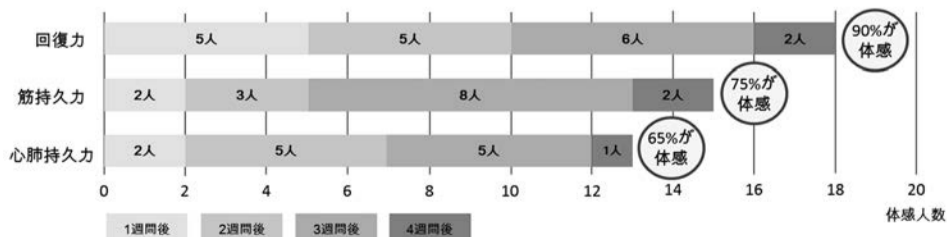
オリゴDNA、オリゴプロタミン、ポリアミン含有

ナチュラルケアでは、NPO 法人遺伝子栄養学研究所にて研究・開発を行った「水溶性ヌクレオプロテイン」「オリゴDNA」を配合したサプリメント、化粧品及び医薬部外品のOEM製造をお請けしております。お気軽にお問合せ下さい。

■アスリートに対する疲労回復効果■

試験条件

対象 / 17歳から42歳までのアスリート20名。内訳 / マラソン10名(男性5名・女性5名)、陸上中距離6名(男性3名・女性3名)、サッカー2名(男性2名)、フェンシング(2名) 摂取量 / ヌクレオプロテイン 1,000mg / 日 摂取期間 / 30日間 評価項目: 筋持久力、心肺維持力、回復力

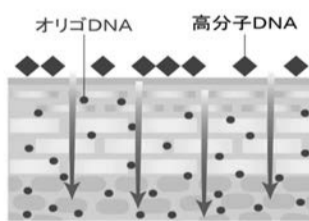


■結果■

練習時の回復力、筋持久力、心肺持久力に効果を感じたアスリートは、それぞれ90%(回復力)、75%(筋持久力)、65%(心肺持久力)と高い比率を示した。

ナノサイズで細胞へ

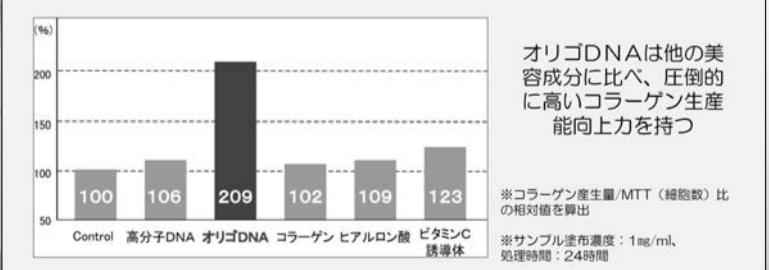
高分子DNA (DNA-Na) を特殊低分子化 極小の分子が肌細胞まで届き、活性化



皮膚に対する効果

コラーゲン生成能を向上 細胞賦活作用 キメ密度、うるおいの向上 紫外線による損傷を軽減 皮脂分泌コントロール作用 創傷治癒効果 シワの改善 育毛効果 (発毛・育毛・脱毛防止剤として日本国特許取得)

■ヒト皮膚3次元モデルにおけるコラーゲン生産能力向上力の比較



NPO 法人遺伝子栄養学研究所会員企業

ナチュラルケア株式会社 Natural Care

北海道恵庭市恵み野北 3-1-13 お問い合わせ: 03-5643-5865 (東京営業部)